

# 火山対策の検討状況について

平成30年2月27日現在

業務名	噴火シナリオの整理	火山ハザードマップの作成	火山防災マップの作成	避難計画の策定	地域防災計画の修正	ハード、ソフト対策の検討	防災訓練の実施
概要	噴火に伴う現象と及ぼす影響の推移を時系列的に整理した「噴火シナリオ」を策定する。	噴火に伴う現象が及ぼす範囲を地図上に示した「ハザードマップ」を作成する。	ハザードマップに避難場所、避難方向等、防災上必要な情報を記載した「防災マップ」を作成する。	避難情報の伝達手段、避難場所、避難経路、避難手段などを具体的に整理した「避難計画」を策定する。 ※内閣府「噴火時等における具体的で実践的な避難計画策定の手引き」がH28.12に改定「火山単位の統一的な避難計画」を策定することを明記	活火山法の改正、策定した「避難計画」の内容を踏まえ、県、市町村の地域防災計画を修正する。 市町村は、地域防災計画の中で「避難促進施設」を指定し、「避難確保計画」の策定を義務付ける。	火口周辺にいる登山者・観光客の安全対策、火山情報の伝達手段の強化や広報の実施等を検討する。	避難計画、避難確保計画を踏まえた防災訓練を検討する。 また、訓練の課題を踏まえ各計画を見直す。  (訓練内容の例) ①登山者・観光客避難誘導 ②遭難者救助訓練 ③施設ごとの避難訓練 ④ハザードマップに基づく住民避難訓練 等
吾妻山	H25.1完了 吾妻山火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定	H26.8公表 (吾妻山火山防災マップとして作成)	H26.8公表	H29年度内に、「火口周辺地域の避難計画(案)」をとりまとめ、H30年度当初に策定する。 また、「融雪型火山泥流に伴う住民避難計画」はH30年度内に策定する。	「避難計画」の策定後、県及び各市町村の地域防災計画を修正する。	火山防災協議会の下に「火山防災対策検討ワーキンググループ」を設置し、ハード、ソフト両面から実施可能な対策を検討する。	H27年度より避難訓練、救助訓練等を実施  避難確保計画策定後は、計画的に上記例の訓練を実施していく。
	.....→	完了	.....→	平成29~30年	平成30年度	平成30年度	計画的に実施
安達太良山	H27.3完了 安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定	H28.3公表	関係6市町村全てで作成完了(H28.11)	H29年度内に、「火口周辺地域の避難計画(案)」をとりまとめ、H30年度当初に策定する。 また、「融雪型火山泥流に伴う住民避難計画」はH30年度内に策定する。	「避難計画」の策定後、県及び各市町村の地域防災計画を修正する。	火山防災協議会の下に「火山防災対策検討ワーキンググループ」を設置し、ハード、ソフト両面から実施可能な対策を検討する。	避難計画、避難確保計画等を踏まえ検討
	.....→	完了	.....→	平成29~30年	平成30年度	平成30年度	計画的に実施
磐梯山	H28.2完了 磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定	H29.3公表	関係6市町村のうち、4市町村で作成完了。 H29年度内に全市町村で作成完了予定	H29年度内に、「火口周辺地域の避難計画(案)」をとりまとめ、H30年度当初に策定する。 また、「融雪型火山泥流に伴う住民避難計画」はH30年度内に策定する。	「避難計画」の策定後、県及び各市町村の地域防災計画を修正する。	火山防災協議会の下に「火山防災対策検討ワーキンググループ」を設置し、ハード、ソフト両面から実施可能な対策を検討する。	避難計画、避難確保計画等を踏まえ検討
	.....→	完了	平成29年度	平成29~30年	平成30年度	平成30年度	計画的に実施